

高知県地域通訳案内士育成等計画

平成 30 年 11 月 27 日

令和 3 年 3 月 9 日（一部改定）

1 導入の背景・状況

高知県の外国人延べ宿泊数は平成 25 年の 25 千人泊から令和元年の 95 千人泊へと約 4 倍に増加している（観光庁宿泊旅行統計調査の外国人延べ宿泊者数）。また、外国クルーズ客船の寄港数も平成 25 年の 4 隻から令和元年は、23 隻へと大きく増加している。

一方、高知県内の全国通訳案内士の登録者数は 39 名（令和 2 年 12 月 1 日時点）に止まっている。とりわけ、高知県への訪日外国人旅行者が最も多い東アジア（台湾、香港、中国、韓国）の言語に対応できる全国通訳案内士が不足しており、訪日外国人旅行者に対して十分な通訳案内士を確保できていない状況にある。加えて、訪日外国人旅行者の FIT 化や旅行先でのニーズが多様化する中で、外国語対応による受入環境を整備していくことは喫緊の課題となっている。

このため、本県では地域通訳案内士を引き続き育成することとし、高知県内において通訳ガイドができる人材を確保することで、さらに多くの訪日外国人旅行者に対応できる態勢を整備する。このことで、訪日外国人旅行者の周遊促進や満足度の向上を図り、リピーター化を促進し、地域経済の活性化につなげていく。

2 地域通訳案内士育成等計画の作成主体

高知県

3 地域通訳案内士の名称

高知県地域通訳案内士

4 区域

高知県

5 外国語

地域通訳案内士として認定する外国語：英語、中国語、韓国語

6 研修実施に係る事項

(1) 求めるべき外国語能力

高知県地域通訳案内士として求める外国語の能力は次のとおりの能力を有するものとする。

ア 英語

TOEIC 730 点以上もしくは英検準 1 級以上相当の能力を有していること。

イ 中国語

中国語検定 2 級以上もしくは H S K 5 級以上相当の能力を有していること。

ウ 韓国語

ハングル能力検定 2 級以上もしくは T O P I K 試験 5 級以上相当の能力を有していること。

※なお、研修受講者の内、日本語以外の言語を母語とする者は、日本語能力試験 N 2 級以上の能力を有していること。

高知県地域通訳案内士育成状況や外国人観光客数の動向等を踏まえ、必要に応じて認定する外国語の追加等を検討する。

(2) 実施する研修内容等

① 研修概要

研修項目	研修内容 (概要)	研修時間	想定する研修講師
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none">・研修の概要説明・高知県のインバウンドの現状と観光施策・地域通訳案内士制度について	1 時間	高知県職員
語学研修	<ul style="list-style-type: none">・観光案内業務等、外国人との円滑なコミュニケーションを図るための知識	10 時間	ネイティブ講師または全国通訳案内士
コミュニケーション ホスピタリティ	<ul style="list-style-type: none">・通訳ガイドとしての接遇・外国人観光客の特徴、習慣、マナーに関する知識・おもてなしの精神や具体的な行動に関する知識	3 時間	全国通訳案内士またはインバウンドに関連する事業に従事している者
高知県の食・歴史・ 自然・文化等観光資源	<ul style="list-style-type: none">・高知県の食・歴史・自然・文化等観光資源に関する知識	15 時間	全国通訳案内士、観光事業者もしくは県が指定する講師
旅程管理	<ul style="list-style-type: none">・国内旅程管理業務に関する知識	8 時間	観光庁長官の認定を受けた機関
実地研修	<ul style="list-style-type: none">・模擬ツアー等によるガイドスキルの向上・ガイド業務の探し方	15 時間	全国通訳案内士、観光事業者
救急救命	<ul style="list-style-type: none">・AED の取り扱い・応急手当の知識・技術	3 時間	日本赤十字社、消防局等

② 研修内容

ア. オリエンテーション（研修時間：1時間）

研修の概要及び高知県のインバウンドの現状や観光施策、地域通訳案内士制度についての説明を行う。

イ. 語学研修（研修時間：10時間）

認定する言語を用いて、旅行者とのコミュニケーションを円滑に図ることができ、観光案内業務等の対応ができるレベルの語学研修を行う。

ウ. コミュニケーション・ホスピタリティ（研修時間：3時間）

通訳ガイドとしての接遇、外国人観光客の特徴、習慣、マナーに関する知識、おもてなしの精神や具体的な行動に関する研修を行う。

エ. 高知県の食・歴史・自然・文化等観光資源（研修時間：15時間）

高知県の食・歴史・自然・文化などの観光資源に関する研修を行う。

オ. 旅程管理（研修時間：8時間）

観光庁長官の登録を受けた機関もしくは観光庁長官の登録を受けた機関による国内旅程管理研修を修了した講師による国内旅程管理研修を実施する。

旅行者の移動の円滑化に関する知識、安全対策及び事故発生時の対応に関する事務処理能力等について研修を行う。

カ. 実地研修（研修時間：15時間）

模擬ツアー等によるガイドスキルを向上させる研修を行う。また、どのように旅行会社等から通訳ガイドの業務を受注できるか、契約・業務受注までの流れ、契約・業務受注時の注意点等について研修する。

キ. 救急救命（研修時間：3時間）

日本赤十字社、消防局等が実施する「基礎講習」、「普通救命講習」を受講させることで、AEDの取扱いや応急（救命）手当の知識・技術を習得する。

なお、過去3年間において日本赤十字社、消防局等が実施するAEDの取扱いや応急（救命）手当の知識・技術の講習を含む「基礎講習」、「普通救命講習」を修了した者は、受講したことを示す証明書類の提出により「救急救命」を免除する。また、口述試験日までに、本研修以外の場で独自に受講することを認めることとし、受講したことを示す証明書類の提出により免除するものとする。

（3）効果測定の実施方法

研修カリキュラムの全日程を受講した者に対して、1人あたり10分程度の面接形式による口述試験を行う。審査員は全国通訳案内士等が務め、研修の理解度を測るほか、外国語によるスピーキングスキルやプレゼンテーション能力、ガイド能力等について審査する。

(4) 実施時期

実施スケジュール (案)

研修実施に向けた準備	4月～6月
制度周知期間	6月～
研修受講募集期間	7月～ 8月頃
研修実施	9月～11月頃
地域通訳案内士の登録	12月～

7 地域通訳案内士育成事業の安定性の確保について

地域通訳案内士を養成・確保するために、定量的な目標値を定め、当該目標を目指して地域通訳案内士を養成する。

(定量目標：地域通訳案内士数 単位：人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年以降
地域通訳案内士育成数	25	20	20	20

8 地域通訳案内士の活躍の支援について

高知県及び公益財団法人高知県観光コンベンション協会のホームページや窓口において地域通訳案内士制度の周知を行う。併せて、県内各観光協会、旅行会社等に対する情報提供を行い、地域通訳案内士の活用を促進する。